

道徳だより

どう Do 徳 ?
どう 説く ?
どう 道 talk



テーマ：「やってみたい」がいっぱい！「授業実践力向上講座」

令和 6 年 7 月
京都市立道徳教育研究会
広 報 部
(第 2 号)



道徳的な問題を「自分事」として考える授業展開の工夫

- ☑ 道徳科として子どもたちに育てたい資質・能力
- ☑ 道徳科の教材分析やめあて・発問づくり・役割演技のポイント



Let's check 3つの価値理解

価値理解



- (例)
- 「こうしてほしいだろうな」と思うことをするのが親切なのだ。
 - 手を差し伸べず、見守る・やらないが、「思いやり」になること、確かにあるなあ。

道徳的価値の理解

価値理解

実感を伴って道徳的価値のよさを理解する

自己を見つめる 自分事

人間理解

他者理解

実現できない人間の弱さ 感じ方、考え方の多様さ

人間理解 (例)

- ずるいところや弱いところって、どんな人にもあるんだな。
- 「高齢者に座席を譲るのが正しい」って分かっているけど、なかなかできないよ…。

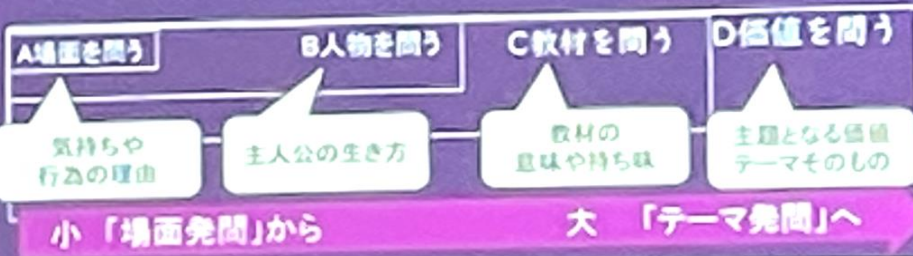


他者理解 (例)

- ぼくはこう考えたけれど他の人は全然違う考え方なのだ。
- 自分の「当たり前」は当たり前じゃないのだな。



Let's check 子どもたちが自己の生き方について考えられる「問い」



「教科書を読めば分かる」ではない、「価値」を見つめる「問い」を意識しよう！

「展開後段」は自己内対話のチャンスです。「自分事」として考えられる発問…どんなものがあるでしょうか？

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ～の時〇〇はどんな気持ちか。 ～の時〇〇はどんなことを考えたか。 ～の時〇〇がそうしたのはなぜか。 ～の時自分が〇〇ならどうするか。 | <ul style="list-style-type: none"> 〇〇の生き方をどう思うか。 〇〇の心を支えているのは何か。 〇〇と〇〇の考えはどう違うのか。 〇〇にどんなことを言いたいか。 | <ul style="list-style-type: none"> この話からどんなことが分かるか。 この話のどんなことが問題なのか。 この話の〇〇についてどう思うか。 この話が心打つのはなぜか。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分は〇〇についてどう考えるか。 本話の〇〇とは何だろうか。 〇〇はなぜ大切なのか。 〇〇と〇〇はどんな違いがあるか。 |
|---|---|---|--|

京大教育学部 色野 賢治

道徳科の授業づくり ～めあて・中心発問・役割演技～

内容項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任 第2学年「わりこみ」（「生きる力」日本文教出版）

大切にしたいこと

- ▶ みんなが参加できる授業づくりをする
～ 思いを表出できる場を設定する ～
- ▶ 板書をシンプル化させる
～ 挿絵は大きく、言葉は少なく ～



コーディネーター
桃山南小学校
教諭 安藤 友里
(シニアマイスター)



Let's check こんな考えが生まれました

めあて

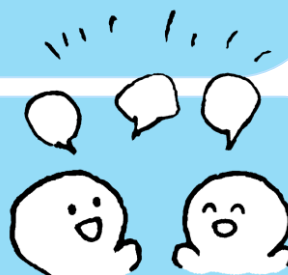
- ① 正しいことを続けると、わたしの心は
どうなるのだろう。
- ② 正しいことを選ぶと、わたしの心は
どうなるのだろう。
- ③ どうして正しいことを選ぶのだろう。
- ④ あなただったら、どちらを選びますか。
- ⑤ どうしてわりこみはいけないのだろう。
- ⑥ どうして正しいこと（よいこと）が大
切なのだろう。
- ⑦ どうやって、正しいことと、悪いこと
を決めたらよいのだろう。
- ⑧ よいことを進めさせるために、大切な
ことは何だろう。

中心発問

- ① 「ぼくの後ろならかまわないかな」と思ったの
に、「わりこみはいけないよ」と言ったのはど
うしてだろう。→「かまわないかな」と迷う心
があるところに注目してほしい。
→理由を尋ねるのは、低学年には難しいのでは
ないだろうか…。
- ② 「やっぱりわりこみは いけないよ」と言った
のは、どんな考えからでしょう。どんな思いか
らでしょう。どうして言ったのでしょうか。
- ③（先に役割演技をしてから）どうしてぼくは
「やっぱりわりこみはいけないよ」と言ったの
だろう。

役割演技について

- ① 役割演技の中で、「ぼく」の後ろの子の気持ちを問う。
→「ぼく」に「はっきり伝えてよかった」と感じさせられるようにしたい。
- ② けんじさんを先生がサポートして役割演技をする。
- ③ 実際に何人か並ばせ、教材の場面を再現する。その時に、ぼくはいつの時点で「いけない」と気
付いたのかを問う。
- ④ 「わりこみはいけないよ。だってね…」 この後を考えさせる。



今回検討した「わりこみ」は、7月31日の授業実践力向上講座で実践提案されます。

【文責 保本 貴之（西陣中央小学校）】